



広島県内経済情勢報告

～広島県の経済情勢について～

令和6年11月7日
財務省 中国財務局

【お問い合わせ先】
中国財務局経済調査課
電話 (082) 221-9221

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある」

項目	前回（6年7月判断）	今回（6年10月判断）	前回比較
総括判断	一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある	一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある	→

（注）6年10月判断は、前回6年7月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある。生産活動は、横ばいの状況にある。雇用情勢は、緩やかに改善しつつある。

【各項目の判断】

項目	前回（6年7月判断）	今回（6年10月判断）	前回比較
----	------------	-------------	------

個人消費	一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある	一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある	→
生産活動	一部に強さがみられるものの、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	横ばいの状況にある	↔
雇用情勢	緩やかに改善しつつある	緩やかに改善しつつある	→

設備投資	6年度は前年度を上回る見込み	6年度は前年度を上回る見込み	→
企業収益	6年度は減益見込み	6年度は減益見込み	→
企業の景況感	「下降」超幅が拡大している	「下降」超幅が縮小している	→
住宅建設	前年を下回る	前年を下回る	→
輸出	前年を上回る	前年を上回る	→

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、欧米における高い金利水準の継続や中国における不動産市場の停滞の継続に伴う影響など、海外景気の下振れが景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある」

業態別にみると、百貨店販売は、衣料品などが低調であり、前年を下回っている。スーパー販売は、節約志向がみられるものの、販売価格の上昇などによって、前年を上回っている。ドラッグストア販売は、季節商品などが好調であり、前年を上回っている。乗用車販売（新車登録・届出台数）は、昨年末からの自動車認証不正取得問題の影響から回復しつつあり、前年を上回っている。このように、個人消費は、全体では、一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある。

（主なヒアリング結果）

- 衣料品は夏物セールが低調だったほか、猛暑によりスーツやジャケット類が不調だった。（百貨店）
- 相場高により米や野菜が売上げを伸ばしたほか、盆や夏休みの帰省による「ハレの日」需要で、寿司や刺身、焼肉用の精肉などが好調だった。（スーパー）
- 猛暑により日焼け止めや制汗剤などが好調。また、南海トラフ地震臨時情報や台風の影響による防災意識の高まりから、備蓄用の飲料水、ベビーフード、オムツなどにも動きがみられた。（ドラッグストア）
- 猛暑によりエアコンが売上げを牽引した。単価の高い高機能モデルの需要が高まっている。（家電大型専門店）
- 昨年末からの自動車認証不正取得問題により出荷停止となっていた車種について、生産と販売が再開されており、販売台数が徐々に回復している。（自動車販売）

■ 生産活動 「横ばいの状況にある」

鉄鋼は、自動車向けの生産が回復していることなどから増加している。一方、輸送機械は、生産切替の影響などから減少している。一般機械は、海外向けの需要が低調なことなどから減少している。電気機械は、半導体市況は回復しつつあるものの、在庫調整の影響もあり受注が低調なことなどから減少している。プラスチック製品は、スマートフォン向けの需要が低調なことなどから減少している。このように、生産活動は、全体では、横ばいの状況にある。

- 自動車メーカーの生産・出荷再開を受けて受注が回復し、生産量が増加。足もとではフル生産の状態が続いている。（鉄鋼）
- モデル切替の影響や主力車種の需要の落ち着きなどから、生産量が減少している。（輸送機械）
- 欧州向けを中心として、金利水準の高止まりの影響などにより設備投資意欲が低下し受注が伸び悩んでいることから、生産量が減少している。（一般機械）
- 半導体市況は回復局面に入ったと感じるが、在庫調整の影響もあり受注に結び付くまでには時間を要していることから、力強さに欠ける展開が続いている。（電気機械）
- スマートフォン向け製品について、買い替えサイクルの長期化や中古市場が伸長していることなどから生産量が低下している。（プラスチック製品）

■ 雇用情勢 「緩やかに改善しつつある」

有効求人倍率は、緩やかに低下している。民間職業紹介における求人は、正社員で堅調に推移しているものの、アルバイト・パートで弱さがみられる。企業の人手不足感は、法人企業景気予測調査（6年7-9月期）の従業員数判断 BSI でみると、いずれの規模においても、また、製造業・非製造業いずれにおいても「不足気味」超幅が拡大している。このように、雇用情勢は、緩やかに改善しつつある。

- 製造業において、人員不足への対応として、ロボット導入（DX化）による生産ラインの見直し（省人化）を図る動きがみられる。（人材・職業紹介）
- スキマバイトアプリの活用が各店舗で進んでいる。（小売）
- スカウト型転職サイトを活用し、求職者へ直接アプローチをかけているもののリアクションは芳しくない。専門人材は全国的にも奪い合いの様相を呈しており、採用活動は非常に厳しいものとなっている。（はん用機械）

■ 設備投資 「6年度は前年度を上回る見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」6年7-9月期

- 製造業では、「化学」などで減少するものの、「木材・木製品」、「生産用機械」などで増加することから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。
- 非製造業では、「金融・保険」などで減少するものの、「電気・ガス・水道」、「不動産」などで増加することから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。

- バイオマス関連の設備投資を実施。(木材・木製品)
- 発電関連の設備投資を実施。(電気・ガス・水道)

■ 企業収益 「6年度は減益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」6年7-9月期

- 製造業では、「化学」などで増益となるものの、「木材・木製品」、「その他の輸送用機械」などで減益となることから、全体では減益見込みとなっている。
- 非製造業(除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」)では、「建設」、「小売」などで増益となるものの、「運輸・郵便」、「学術研究、専門・技術サービス」などで減益となることから、全体では減益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「『下降』超幅が縮小している」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」6年7-9月期

- 企業の景況判断 BSI は、「下降」超幅が縮小している。なお、先行きは「上昇」超に転じる見通しとなっている。

■ 住宅建設 「前年を下回る」

- 新設住宅着工戸数で見ると、分譲住宅が増加しているものの、貸家、持家などが減少していることから、前年を下回っている。

■ 輸出 「前年を上回る」

- 輸出(円ベース)は、自動車などが減少しているものの、船舶、一般機械などが増加していることから、前年を上回っている。地域別では、西欧などで減少しているものの、アジア、中南米などで増加している。

なお、輸入(円ベース)は、電気機器、鉄鉱石などが増加していることから、前年を上回っている。地域別ではアジア、大洋州などで増加している。

広島県内経済情勢報告

(令和6年11月7日)

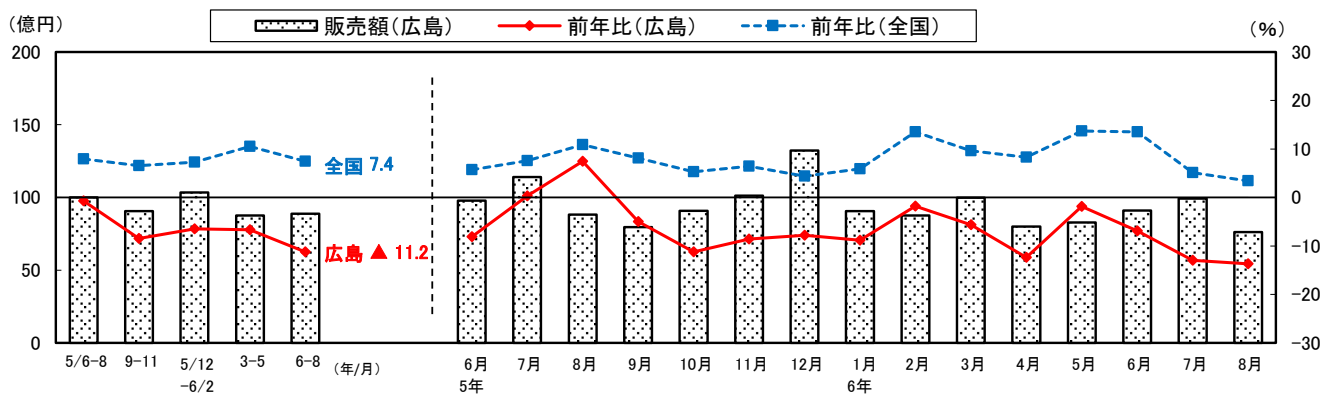
資料編

	目次	ページ
1.	個人消費	1
2.	生産活動	3
3.	雇用情勢	4
4.	設備投資	5
5.	企業収益	5
6.	企業の景況感	6
7.	住宅建設	6
8.	輸出	7

1. 個人消費 一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある

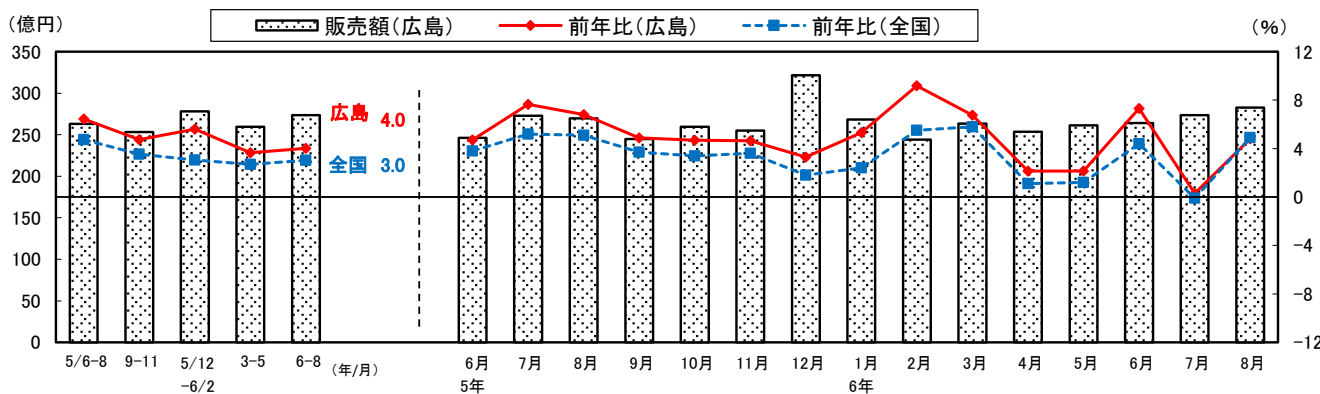
(1) 百貨店販売額(全店舗)

(注) (1)~(6)の各グラフの3か月毎の販売額は、1月あたりの平均



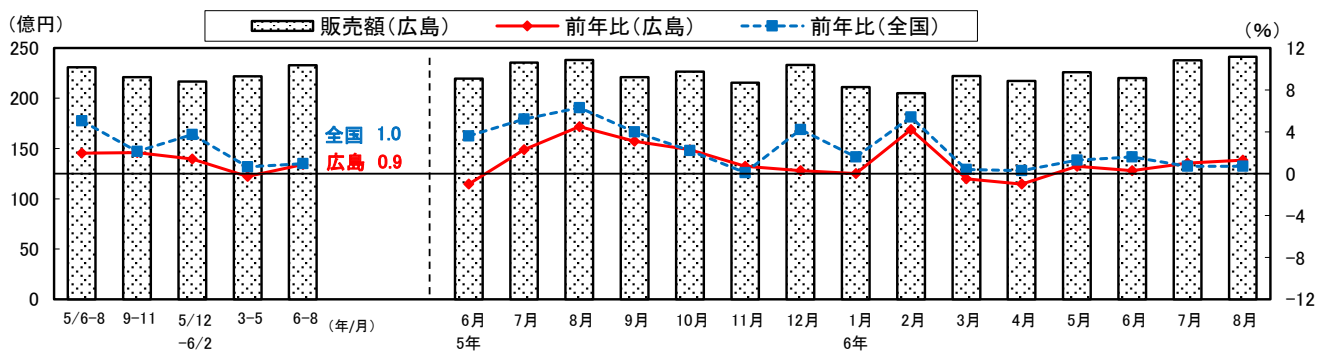
(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局)

(2) スーパー販売額(全店舗)



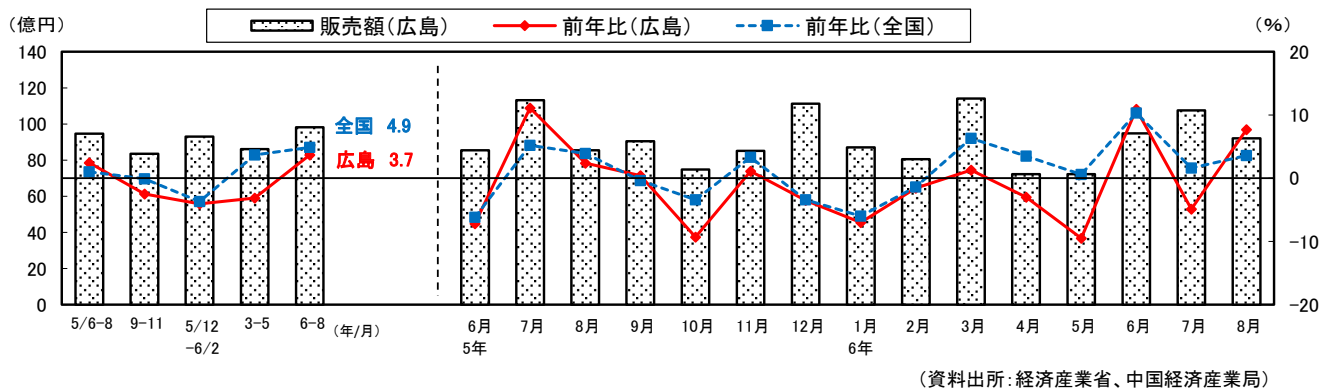
(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局)

(3) コンビニエンスストア販売額(全店舗)



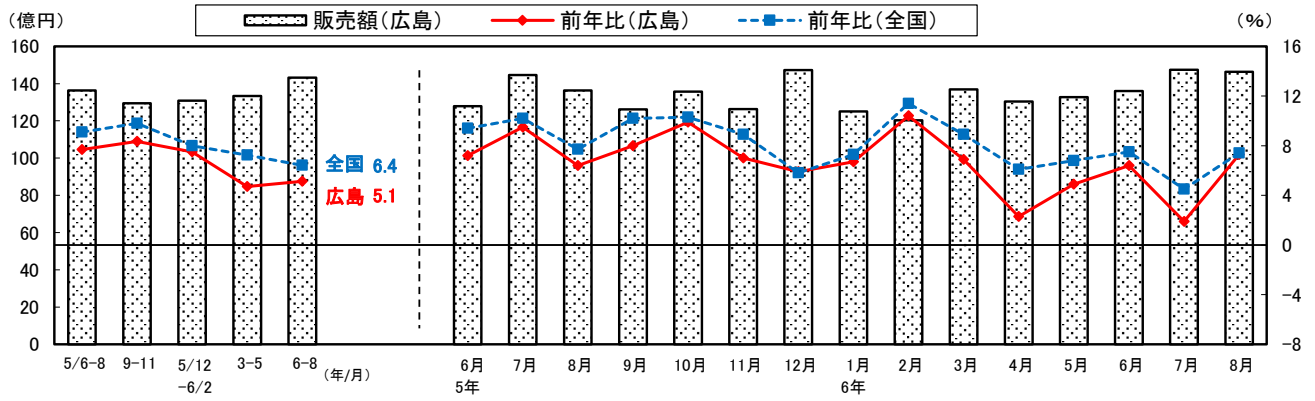
(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局)

(4) 家電大型専門店販売額(全店舗)



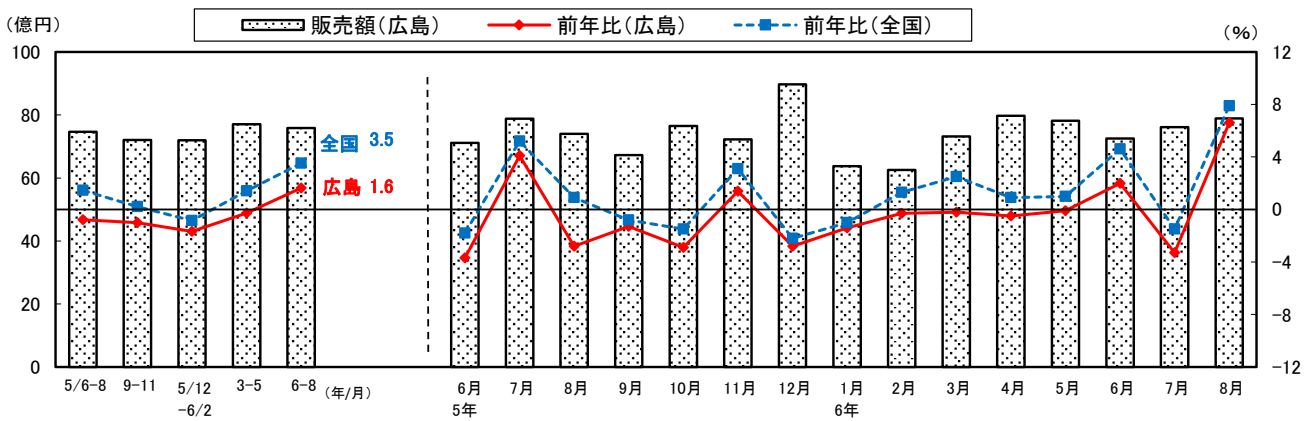
(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局)

(5) ドラッグストア販売額(全店舗)



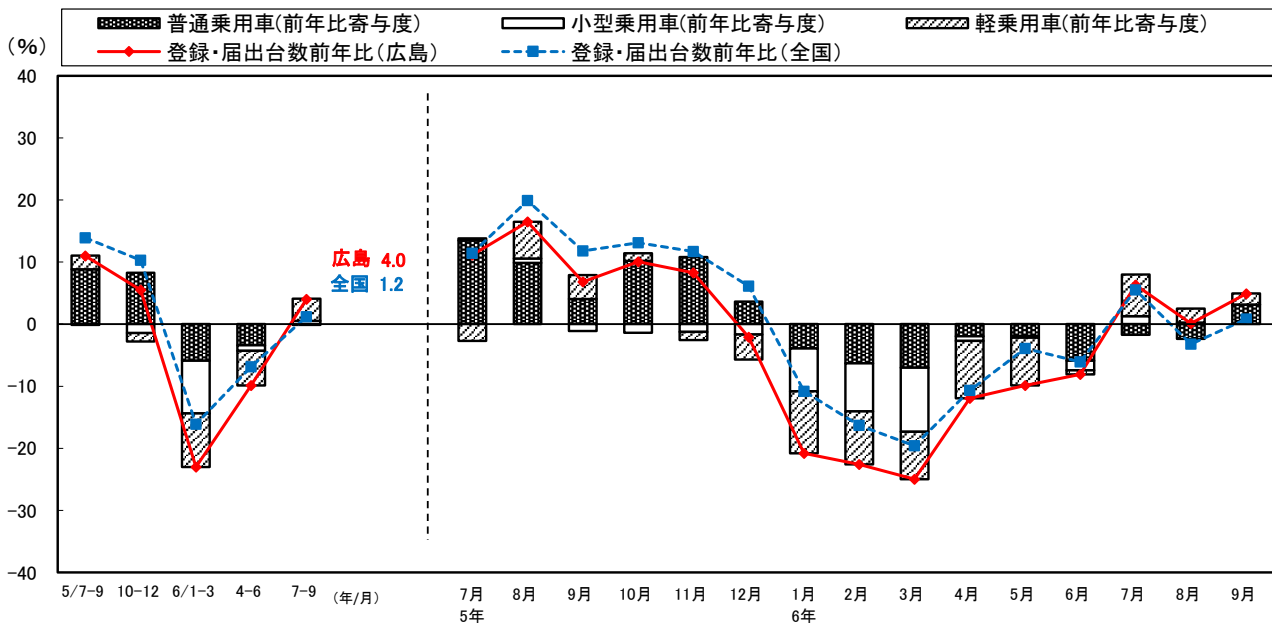
(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局)

(6) ホームセンター販売額(全店舗)



(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局)

(7) 乗用車販売(新車登録・届出台数)

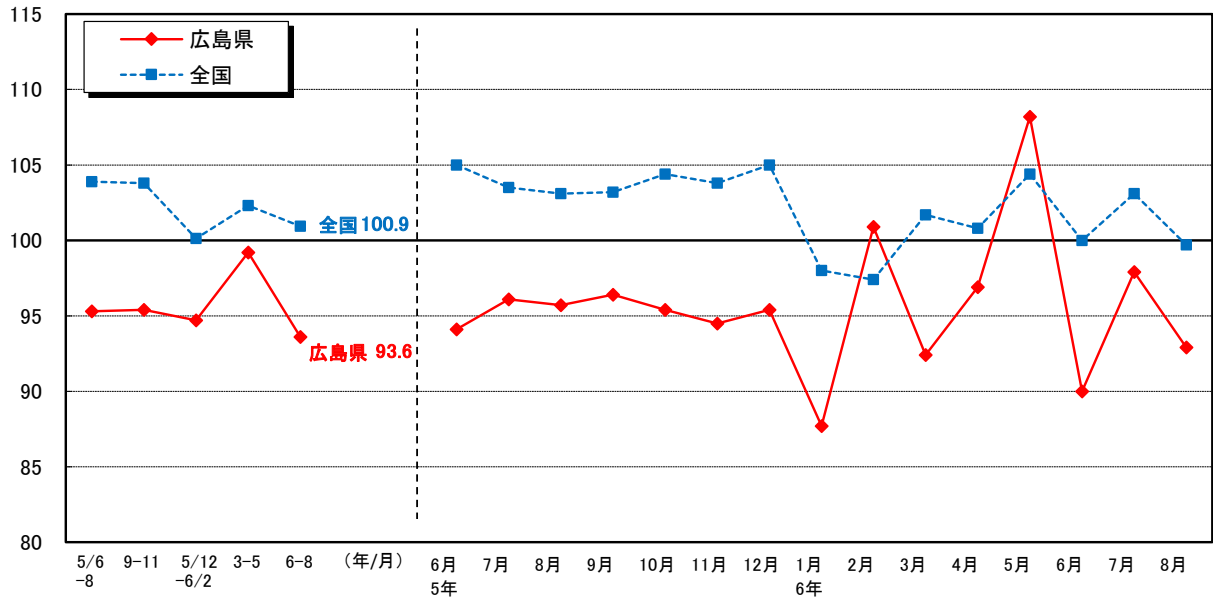


(資料出所: 中国運輸局)

2. 生産活動 横ばいの状況にある

(1) 鉱工業生産指数(季節調整値)

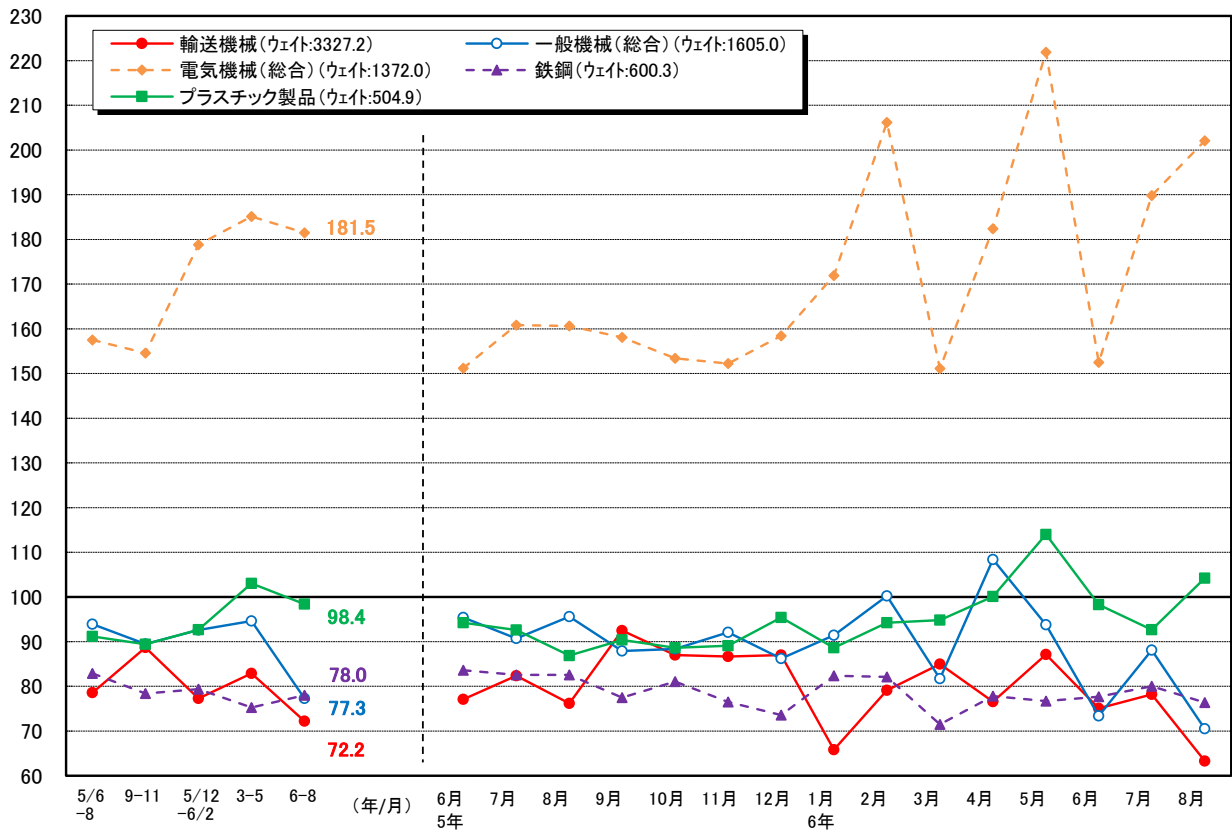
(指数) 全国(令和2年=100) 広島県(平成27年=100)



(資料出所: 経済産業省、広島県)

(2) 県内主要業種別生産指数(季節調整値)

(指数) (平成27年=100)

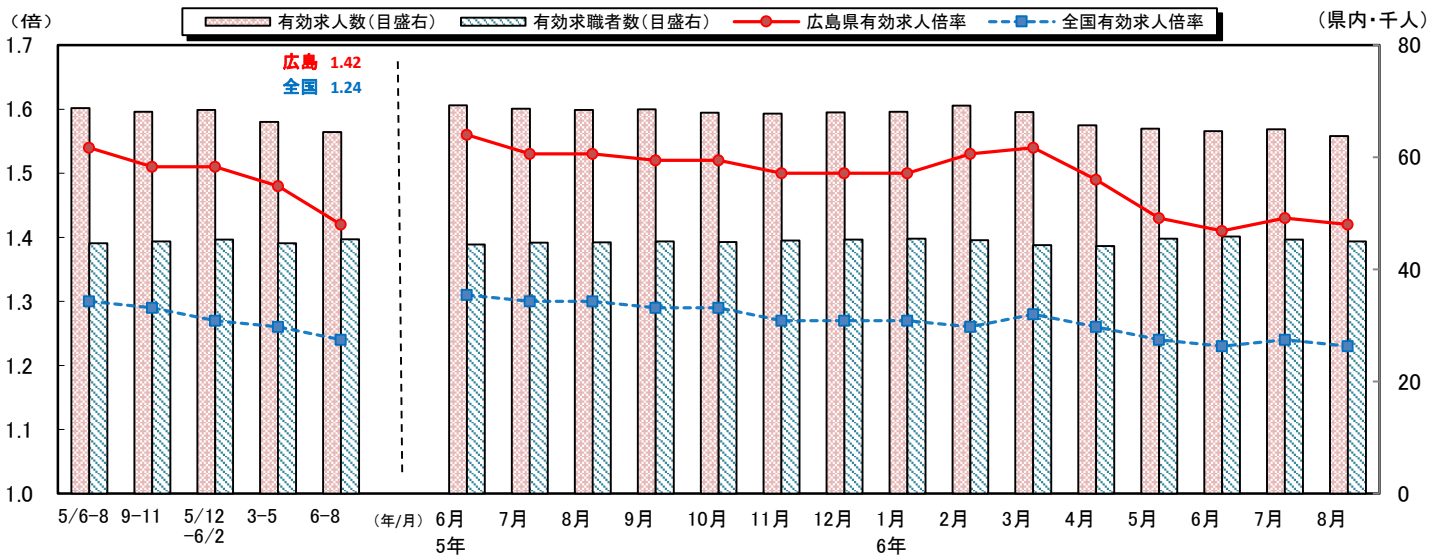


(資料出所: 広島県)

3. 雇用情勢 緩やかに改善しつつある

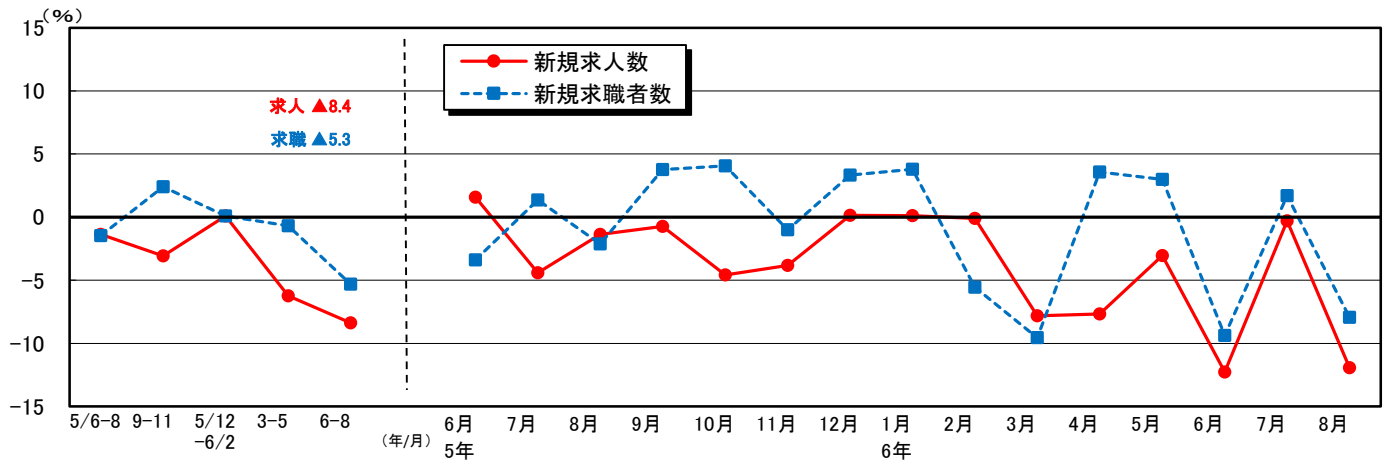
(1) 有効求人倍率、有効求人人数・求職者数(学卒を除く、季節調整値)

(注)(1)のグラフの3か月毎の有効求人人数と有効求職者数は、1月あたりの平均。



(資料出所:厚生労働省、広島労働局)

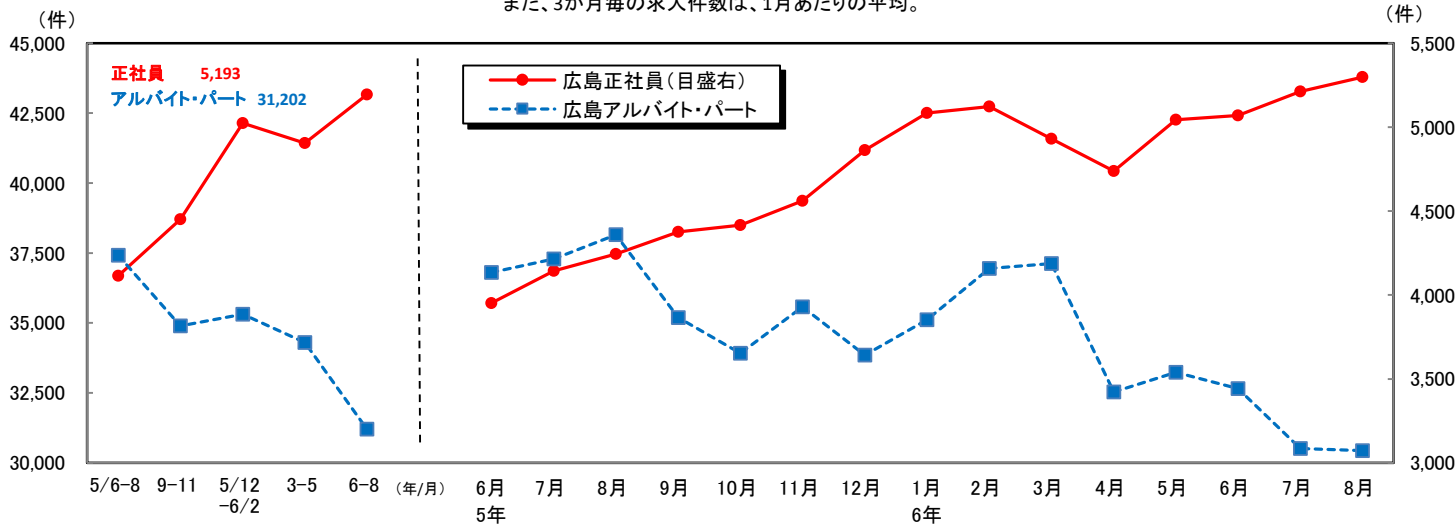
(2) 県内新規求人・求職者数(学卒を除く、原数値)の前年比



(資料出所:厚生労働省、広島労働局)

(3) 民間職業紹介における求人数の推移

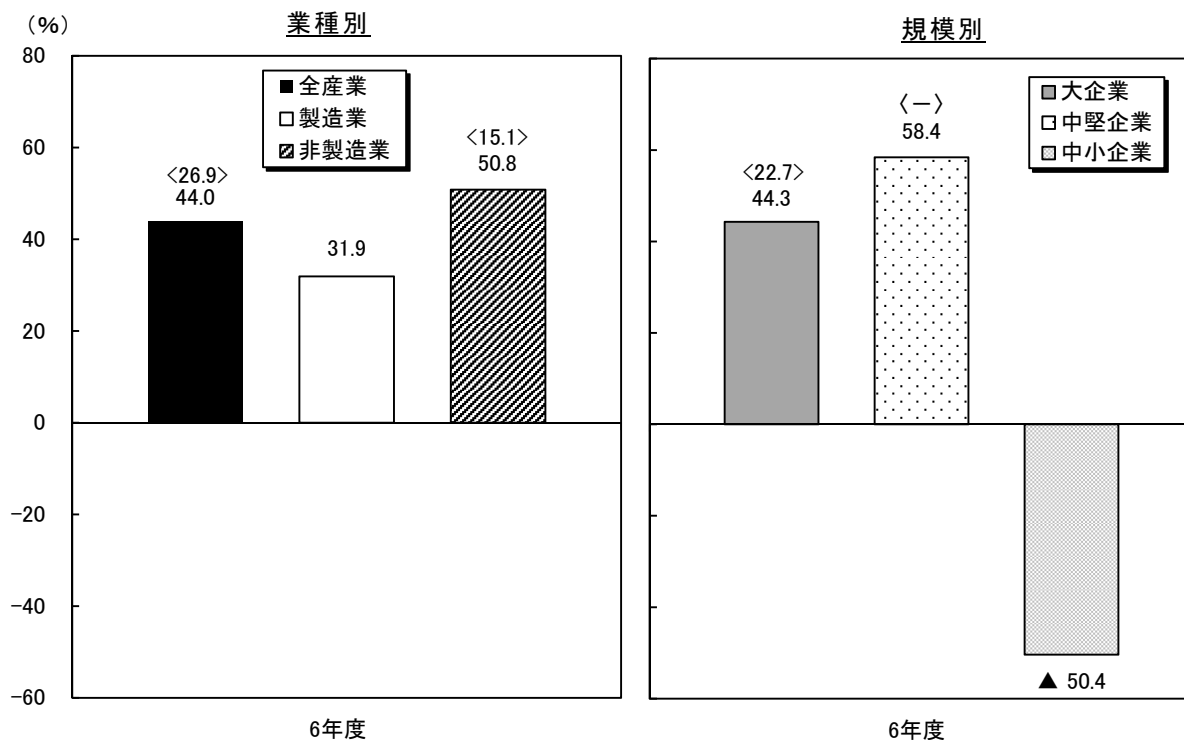
(注)(3)のグラフの各月求人数は、毎月最終週時点の件数。また、3か月毎の求人数は、1月あたりの平均。



(資料出所:株式会社フログ)

4. 設備投資 6年度は前年度を上回る見込み

設備投資額(前年度比)

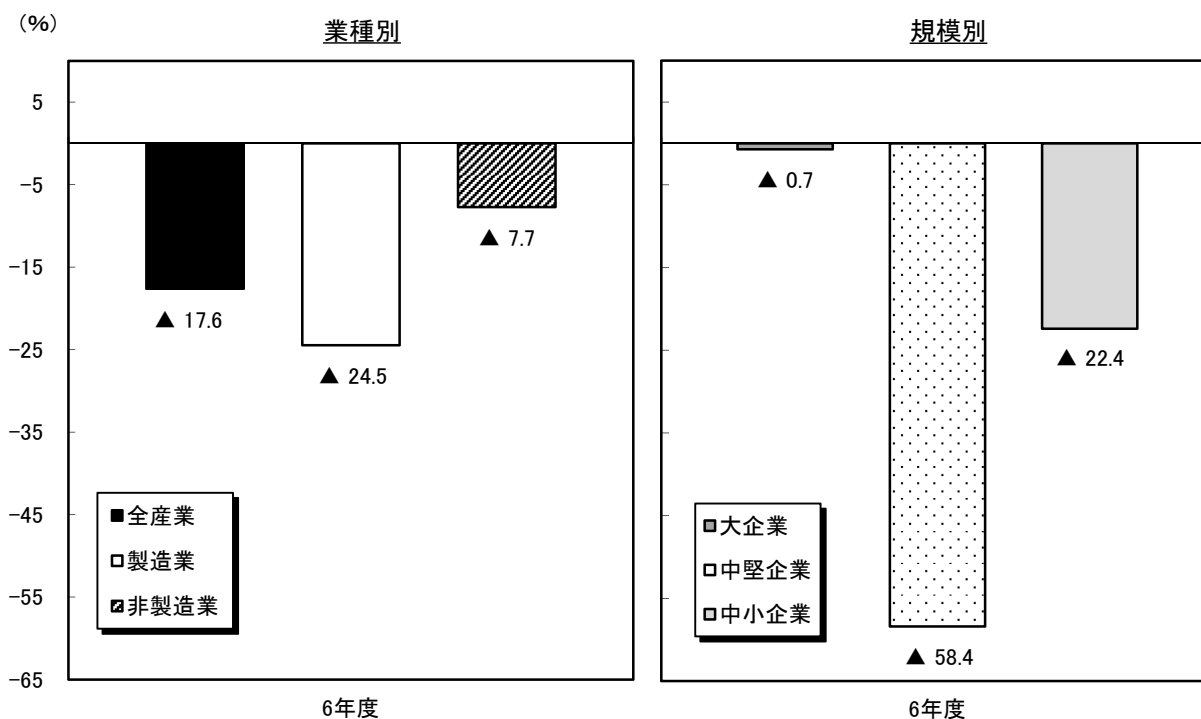


< >書きは電気・ガス・水道業を除く前年度比

(資料出所: 中国財務局)

5. 企業収益 6年度は減益見込み

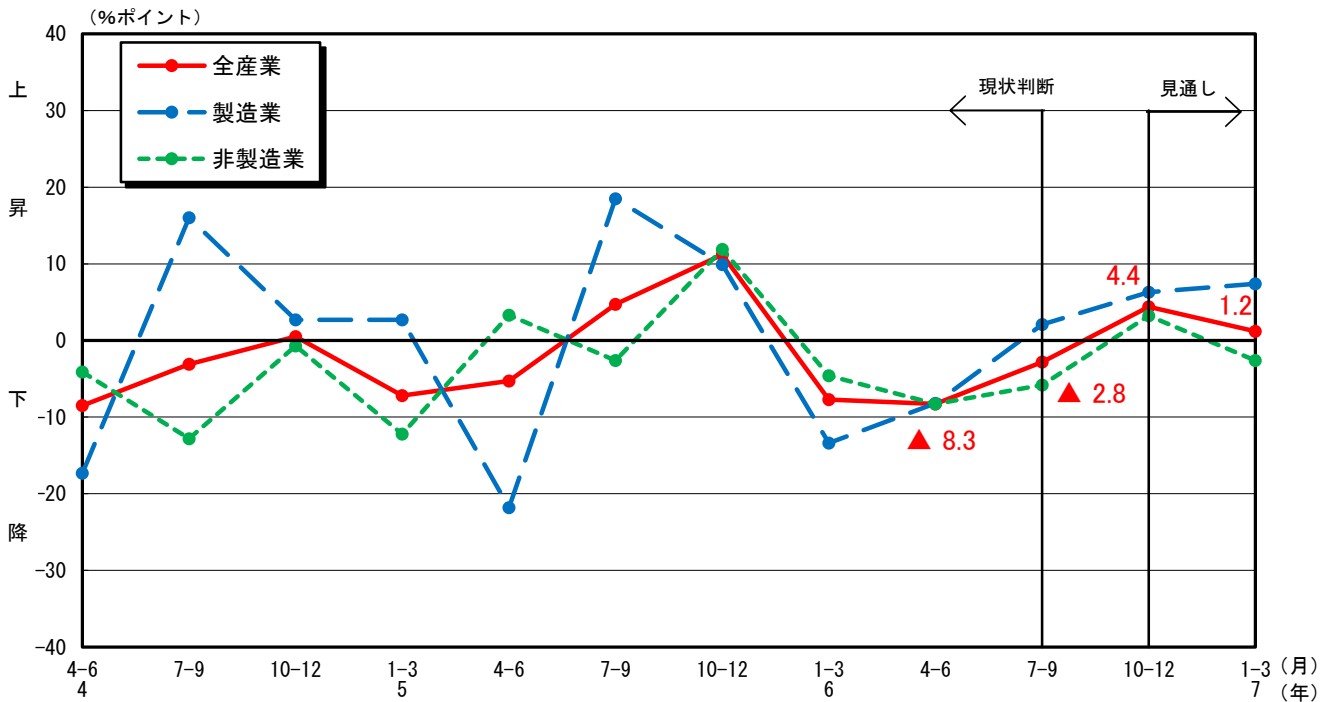
経常利益(電気・ガス・水道業、金融業、保険業を除く: 前年度比)



(資料出所: 中国財務局)

6. 企業の景況感 「下降」超幅が縮小している

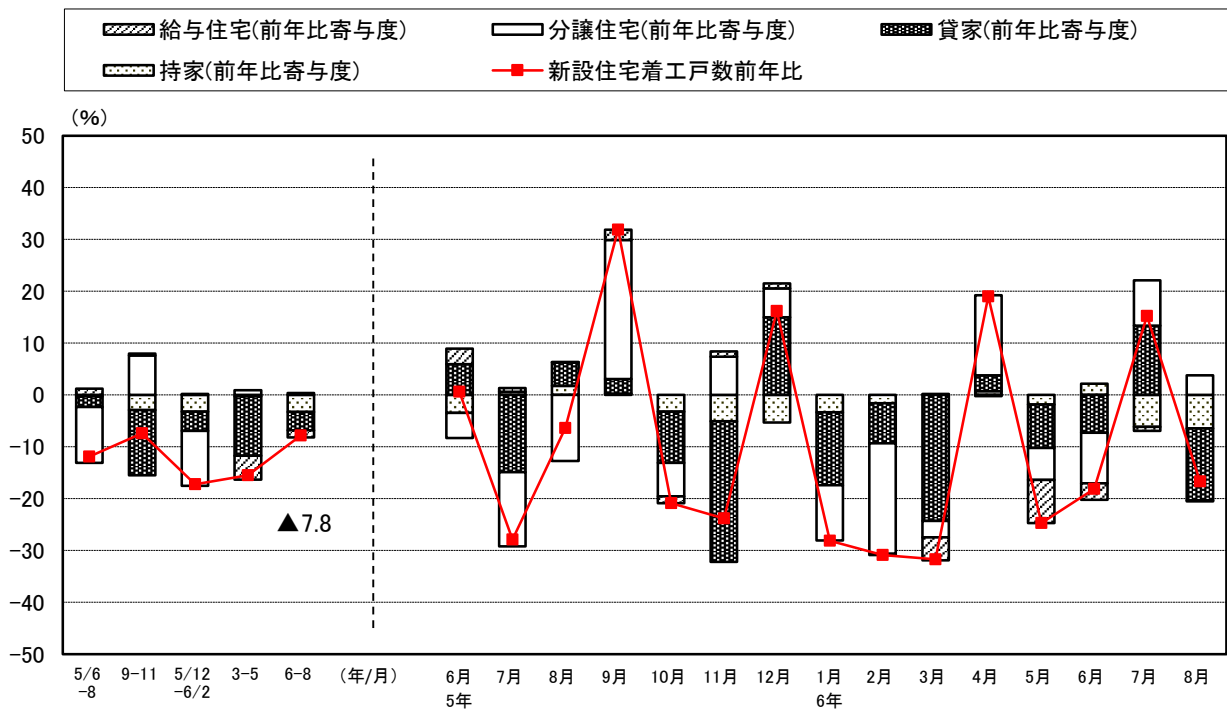
景況判断BSIの推移(原数値) (BSI: 前期比判断「上昇」-「下降」社数構成比)



(資料出所: 中国財務局)

7. 住宅建設 前年を下回る

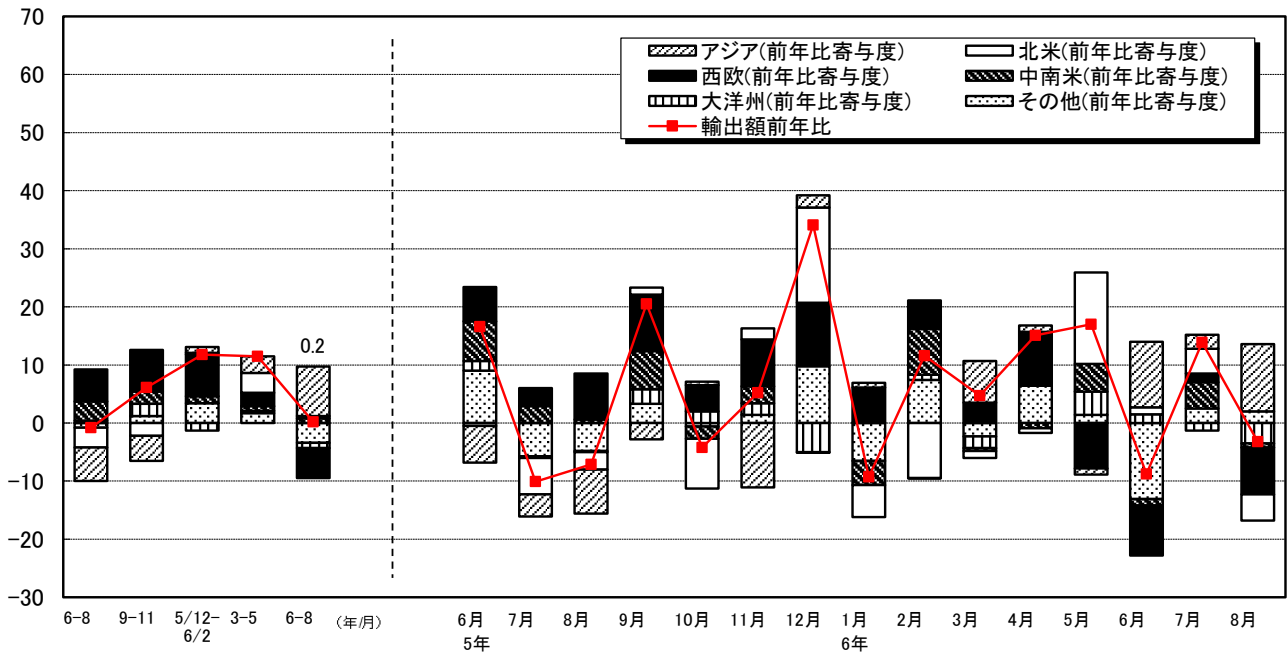
新設住宅着工戸数(前年比)



(資料出所: 国土交通省)

8. 輸出 前年を上回る

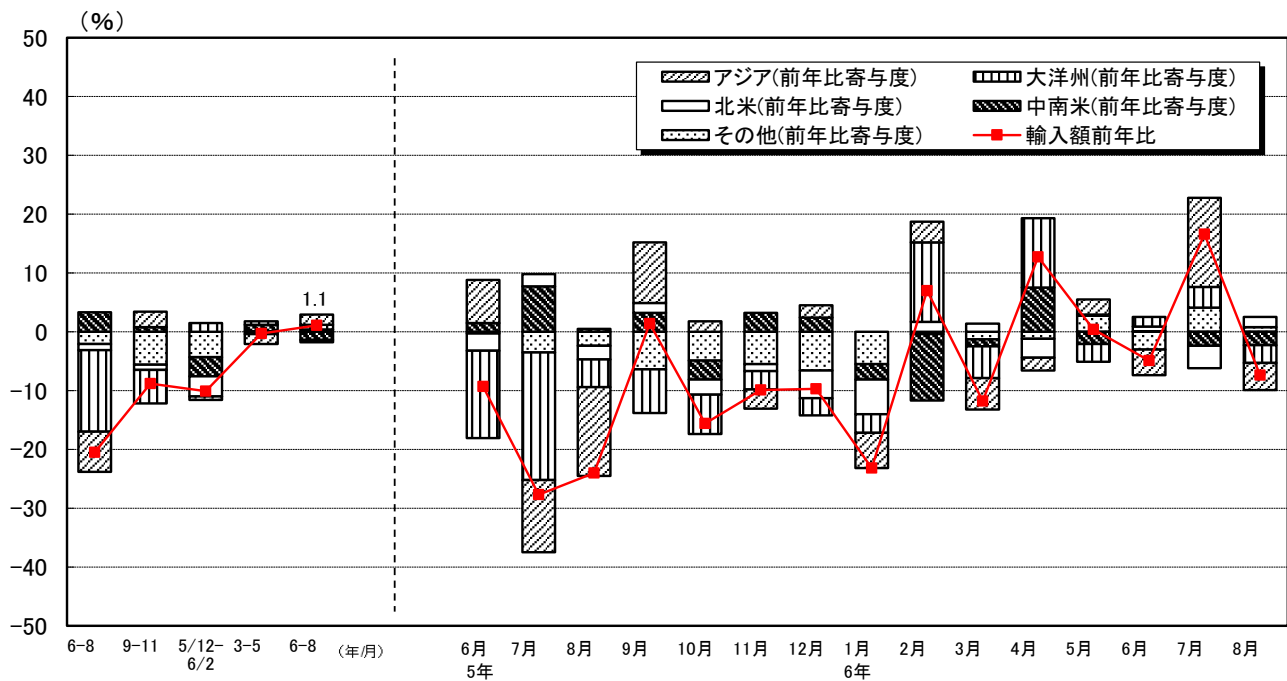
輸出(円ベース)
(%)



(資料出所: 神戸税関)

<参考>

輸入(円ベース)



(資料出所: 神戸税関)